

新企画!!

人形を生かす装束



平家物語の人形衣装は、川本喜八郎が佐藤三郎を中心とした大勢のスタッフと共に製作しました。歴史上の人物を表現する難しさは、その時代の風俗をどこまで表現するかでもあります。川本を悩ませたのが、平安時代の雅やかな衣装の色彩でした。平安時代の衣装は階級による厳しい規律が整っていたからです。しかし登場人物の性格をより鮮明に出したかった川本は、階級にとらわれず、人形のかしらに似合う布地を選択し、組み合わせることで人物の性格を表現することにしました。佐藤三郎とスタッフは川本と一緒に買い付けに向きそれぞれの人形の生地を選び、納得がいくまで色合わせをして衣装を作り出しました。多くの人々の能力を引き出し、人形の造形に活かしていく。川本の人を引きつける人柄とプロデュース能力の高さが感じられます。

かしら

「かしら」とは、人形の顔のことをいいます。多くの人に関わりながら制作された人形ですが、かしらは川本一人で手がけていました。

「平家の人形は三国志と比べるとどこかおっとりしておとなしい、ということに気がついた。個性を強調しようとして、顔に凹凸を付けたり、目や鼻を大きくしたりしていた時、それは夜半であったが、「違うよ！」という人形の声が突然聞こえたのだ。「平家」の人形がおとなしいのは、物語から来ている必然であったのだ。その時以来、人形の声聞きながら仕事ができるようになった気がする。」

写真集「新・平家物語 人形絵巻」より 川本喜八郎

撮影と採演

微かな生命力を持って生まれてきた人形達が、脚本、演出、採演、声、照明、美術、撮影などすべてのスタッフの力を吸い取って、その生命の輝きの花火を散らす時がやって来た。清盛や義経や頼朝が、待っていたように生き生きと活躍する時、私はもう一観客として笑ったり涙したりする。彼らはすでに独立した人格なのである。

写真集「新・平家物語 人形絵巻」より 川本喜八郎

平家物語

源平、対なる運命



人形というものが、本質的に人物の典型を表現する場合、魔力ともいえるような力を発揮することは三国志で証明されていました。次には「新・平家物語」で人形の本質をさぐってみたい、というのが私の夢でした。平家物語はひたむきで憐れな日本人の典型の宝庫です。ですからそれは、人形のために用意された物語である、と私には思えるのです。写真集「新・平家物語 人形絵巻」より 川本喜八郎
今回の展示では、平氏・源氏、それぞれの近い境遇の人物を対称に配置いたしました。境遇を活かした人物、或いはしづかにその境遇を受け入れた人物。平家物語では総計400体を超える人形が作られ演じられました。

三国志

戦乱の英雄たち

当時の後漢王朝は、外戚(皇后の一族)と宦官(去勢された役人)の二大勢力が宮中の実権をめぐって争い、庶民は苦しみにあえいでいた。しかし、時の霊帝は暗君で、「十常侍」と称する十人の宦官の傀儡でしかなかった。184年に勃発した中国史上初の組織的農民叛乱「黄巾の乱」により、三国動乱の幕が切っておとされる。数十万の黄巾軍は、間もなく官軍によって鎮圧されたが、各地の軍閥が力を得て、世は群雄割拠の様相を呈してきた。帝が崩御すると、幼い皇子をめぐって、激しい皇位継承の争いが繰り広げられた。大將軍の何進、十常侍があいついで殺害され、都洛陽は炎に包まれてしまう。混乱の極みにおちいった都は、まもなく董卓の手に落ちる。「三国志」の前半は、アクの強い人々が舞台を彩り、そのほとんどが哀れな最期を遂げている。川本自身も、「ひろい中国の各地から、そのにおいを背負って主人公たちが集まってくる」と述べ、その「脂ぎった人々」や「不気味なところのある人たち」の登場が、物語の「味を濃く」「大きな魅力」になっていると考えていた(『三国志百態』1984年刊)。やはりこれは「中国の物語」なのだ。



監修者コラム “暫存落穂”

吉川英治『新・平家物語』は、従来になかった開明的な平清盛像を描いたことで知られています。清盛は保元3(1158)年、大宰府の次官である大宰大式に就任しました。長官の権帥はいなかったので事実上のトップで、日宋貿易を本格化するはずみがついたことでしょう。当時の日本では中国の銅貨「宋銭」が輸入され、通貨として普及しはじめていました。文化財である書籍も貴重な輸入品でした。治承3(1180)年、外孫安徳への皇位継承に際して、当時国外禁帯出で、“知の宝庫”(最先端の学芸の集大成)とされていた龐大な百科事典『太平御覧』をひそかに輸入し(全一千巻、輸入できたのは三百巻)、原本を高倉上皇に、写本を新帝安徳にそれぞれ献上したのは、その象徴的なできごとです。福原(現在の神戸)を開港し、厳島に壮麗な社殿を築き、明るい海の輝きを見つめる清盛の夢と意気込みが伝わってくるようです。

解説・監修:平井 徹(慶応義塾大学講師)



人形を生かす装束

白馬

甲冑

多彩な
衣装

かしら

刀

からくり

川本喜八郎
アニメーションの世界

いばら姫またはねむり姫

張讓

董太后

何進

呂布

貂蟬

丁原

李肅

董卓

諸葛亮孔明

周瑜



張松

陶謙

盧植

馬騰

法正

劉璋

公孫瓚

袁紹

三国志 戦乱の英雄たち

舞台上演用の人形

三国志
八犬伝

非常口

出入口

美福門院

那須与一
(馬)

源頼朝

大姫
北条政子

源義経 常盤
金売り吉次

後白河法皇

蓬子

麻鳥

平家物語

平教経

朱鼻

建礼門院徳子

平重盛

安徳天皇
平時子

源平、
対なる運命

平清盛

玉虫

